

「大手」コンプレックスを払拭せよ 隣の大手店舗は怖くない

まず1つめは、「大手」というコンプレックスです。「大手にはかなわない」「大手が出店したら終わりだ」「そんなふうには「大手」飲食チェーンに対してのコンプレックスは相当なものです。でも、よく考えていただきたいのです。「大手」の何が恐いのですか？

◆「大手」の社員が恐いのですか？

イメージのなかで、大手の社員といえばしっかりしたマーケティングやマネジメントを学んだエリートのような印象を持つかもしれませんが、実際はどうでしょうか？

実際には、大手であるからこそその人材不足に悩んでいるのです。そして、ほとんどの大手チェーンが入社2〜3年くらいの社員を店長にしています。彼らは飲食店という「商売」をやっているわけですが、あなたのように売上や利益の責任を100%請け負っている

わけではありません。成果給のような多少の幅はあったとしても、極端な話、赤字でも給料は貰っているのです。

もちろん、大手チェーンにも優秀な人材は沢山いるでしょうが、簡単にいえば、「サラリーマン店長」なのです。100%リスクを負って商売をしているあなたが恐れる存在ではありません。自分のお金で(場合によっては借金もして)夢を抱き、小さな飲食店を開業した自分自身の「勇氣」と「覚悟」は、大手チェーンの社員に勝るとも劣らないことに気付いてほしいのです。

ましてや、大手チェーンの社員の70%は、「将来、小さくとも自分の店を持ちたい」と思っているのです。そうです、**大手チェーンの社員は、むしろあなたのような状態に憧れ、目標にしているのです。**

◆「大手」の商品開発力が恐いのですか？

次から次へと新商品を派手に打ち出す大手チェーンの展開を見ると、思わず尻込みしてしまいそうになる気持ちもわかりますが、これもよく考えてほしいのです。

なぜ、次から次へと新商品を出すのか？ ハッキリいいます。それは、**新商品とい**